

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	強	指数
思索型	内閉性：孤独な面があり内省するタイプ	[Progress bar]		41
	客観性：思慮深く冷静に判断するタイプ	[Progress bar]		59
活動型	身体性：活動的で機敏に動き回るタイプ	[Progress bar]		64
	気分性：気分で行動に変化があるタイプ	[Progress bar]		47
努力型	持続性：何事も粘り強くやり通すタイプ	[Progress bar]		56
	規則性：規則等を重視し行動するタイプ	[Progress bar]		66
積極型	競争性：競争心が強く積極的に動く傾向	[Progress bar]		48
	自尊心：自らのプライドを尊重する傾向	[Progress bar]		53
自制型	慎重性：慎重に見通しをつけて動く傾向	[Progress bar]		57
	弱気さ：考えすぎて遠慮がちになる傾向	[Progress bar]		49

■ この人の中心性格は「努力：規則性」および「活動：身体性」であるが、「思索：客観性」や「自制：慎重性」といった側面も本人は意識している。

- 「努力：規則性」及び「活動：身体性」の人のパーソナリティスケッチ
 几帳面度、手がけたことをとことん追求するタイプです。とはいっても、細かいことにこだわるというよりも、全体のまとまりを見るほうで、徹底した神経質さはありません。整理整頓は好ましいことと思っても、いつもきれいでなければ気がすまないというほどではないようです。行動力があり、多少の困難にもねばり強い姿勢で対応することができます。常識人でもあり、一般的なルールをできるだけ守ろうとし、堅実というイメージがありますが、ときには突飛な発想をすることもあります。全体的には規則や秩序を大切にし決定事項などは必ず守るといった社会通念を強く持っています。初対面ではなじみにくそうに思われがちですが、実際には誰とでも気軽に話すほうで、すぐに親しくなっていきます。新しい環境などでも比較的早くとけこむことができ、適応力もあります。精神的にも安定して、常に自分のリズムを一定に保つことができます。世話好きで親切的な側面もあり、集団のリーダー格として活躍できる可能性を持っています。
- もう一方の性格特性
 内にこもったところはなく、外向的な人といえます。関心は常に社会的な出来事に向かい、職場の雰囲気などにも気を使う、気配りのできる人です。自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというものは程遠いところにいます。ただ、夢や空想、芸術的な生き方には興味がなく、ワビ・サビという部分は見られません。

<この帳票の見方>

自己分析シートでは、性格、社会性、意欲の側面から診断しています。
 まず1ページ目では、あなたの中心性格を示し、次に日常生活場面での行動傾向を述べています。また、あなたの強み・弱みの把握ができるよう、具体的なアドバイスも記述されています。心理イメージに描かれている顔のイラストは、顔と人間の性格についてよく言われる言い回しをもとにあなたのモニタージュを作成しました。具体的な顔ではなく、心の顔を絵で写し出そうとしたものです。
 2ページ目では、具体的な職場場面での対応力、自己評価と行動予測をグラフで示しています。対応力や行動予測は、1ページ目の診断結果より、あなたの行動傾向を予測したものです。
 あなたが思う本当の自分とのズレを感じる部分もあるかと思いますが、この診断結果によって、自分を見つめ直し、自己理解を深める機会ととらえて下さい。さらなる向上を目指すには、まず自分自身を知ることが大切です。自分を知り、さらなる向上を目指す手だてとして、ご活用下さい。

2 一般的な場面での社会性

社会の側面	弱	強	指数
積極性・活発度	[Progress bar]		57
周囲との協調性	[Progress bar]		61
責任感・一貫性	[Progress bar]		51
自分への信頼度	[Progress bar]		53
指導・指示傾向	[Progress bar]		56
仲間との共感性	[Progress bar]		55
感情の安定度愛	[Progress bar]		57
他者への従順性	[Progress bar]		52
自ら進んで実行	[Progress bar]		50
社会的自我確立	[Progress bar]		50

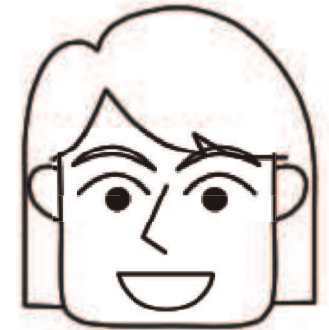
- 「周囲との協調性」について
 周囲との協調性とは、人との輪を大切に、他人への協力などを惜しまない姿勢のことです。仲間と共通の目標にむかう時や、組織内での集団作業を円滑にすすめるために必要なものですが、この傾向が強い場合は、
 ▼自分の考えがあっても、周囲の意見やその場の雰囲気に流され、それに合わせてしまう
 ▼他人のことを考えすぎて、自らの積極的な提案や結論が出せなくなってしまう
 といった行動になることがあります。組織では協調性も大切なことですが、もう少し自己主張をしてみたり、自分らしさをアピールするとグループ全体の活気にもつながり、新たな展開等が生まれる可能性もあります。
- 「社会的自我確立」について
 社会的自我確立とは、今の自分のおかれた環境や現実に対する自己の内面的な満足度を表しています。本来思い描いている自分のあるべき姿と現状に差があるときなどにこの指数は下がります。この傾向が低い場合は
 ▼何らかの悩みを抱え、どうするべきなのか、結論が出せず、いろいろと決心がつかないでいる
 ▼自分らしい生き方の方向性を模索中だが、果たしてどれが正しいのかが見えないでいる
 といったことが考えられます。まずは、いま抱えている悩みや問題、周囲の状況をできるだけ正確に把握し、次に自分が求めている事は何で、今後どうしていきたいのかなどを合わせて分析してみると先決です。

3 心理イメージ

■心理イメージをイラストであらわすと

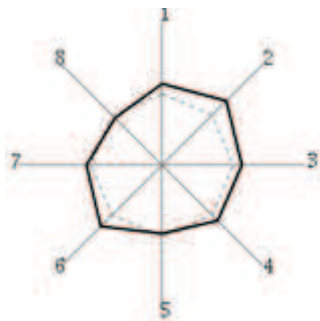
- がんばり屋の性格 → 角張った顔
- 他人の忠告を適度に聞き入れる → まっすぐな眉
- 状況によって指示的行動 → 普通の眉
- 適度に目標を目指す → 中ぐらいの瞳
- 新しいものにそれほど飛びつかない → まっすぐな目
- 目立ちたがり屋ではない → 普通の鼻
- 人と一緒にいるのが好き → 笑った口元

となり、右のような顔ができあがります。



4 仕事場面での対応力

■何事にも積極的な姿勢で取り組む傾向



- 1 : 積極性・活発度 57
- 2 : 働く事への意欲 64
- 3 : 指導・指示傾向 56
- 4 : 上下関係を意識 56
- 5 : 自己アピール度 48
- 6 : 周囲との協調性 61
- 7 : 自分への信頼度 53
- 8 : 逆境に耐える力 48

どんなときにも積極的に仕事に取り組もうとしている様子が見えます。仕事に対する興味、役割認識などもできているようで、自信を持っておこなっていることと思われます。時間配分や目的達成への計画などにも気を配り、さらに実力を発揮していくよう、今後のますますの健闘を期待します。

■人に頼らず自分の力で成し遂げる傾向



- 1 : 独自の行動指針 45
- 2 : 実力・能力主義 49
- 3 : 慣習・慣行打破 48
- 4 : 自ら進んで実行 50
- 5 : 行動の自己管理 59

新しいことに興味はあるものの、積極的に押し進めるまでにはならないようです。自分らしい興味があっても、周囲との調和や雰囲気によってまではしたくないのでしょう。個人的な気持ちを抑えることも大切ですが、新しい環境においては自分から進んでいく必要があります。ときには脱日常を目指してみましょう。

■ねばり強く最後までやろうとする傾向



- 1 : 責任感・一貫性 51
- 2 : 規律正しい行動 71
- 3 : 他者への従順性 52
- 4 : 安全・安定傾向 53
- 5 : 感情の安定度合 57

責任感が強く、やると決めたことは最後まで面倒を見ろといった姿勢が見えます。周囲の出来事に振り回されることもなく、目的を見失うことはありません。精神面での強さが感じられますので、役割や業務に対する認識を強めていくことで、周囲からも頼りにされる存在となっていくことと思われます。

■強い意志を持ち前に進もうとする傾向

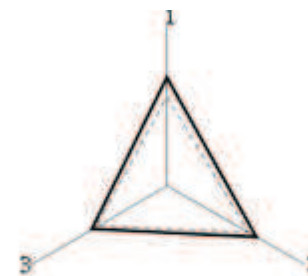


- 1 : 感情の安定度合 57
- 2 : 思い切った行動 43
- 3 : 社会的自我確立 50
- 4 : 明るく、積極的 51
- 5 : 多様さの受入れ 29

何かあると気持ちがしぼんだり、迷ったりするなどして、途中でくじけてしまうこともあるようです。たとえ時間がかかったとしても、自分なりの考えをまとめたものであれば、それほど簡単にあきらめなくなるはず。応援してくれる仲間を見つけるなど、続けていくための環境づくりから始めてみるというでしょう。

5 自己評価

■自己評価と行動予測の比較



- 1 : ヤル気の出出度 自己評価 68
行動予測 56
- 2 : 管理・対人能力 自己評価 65
行動予測 59
- 3 : 思考能力の発揮 自己評価 55
行動予測 51

■ヤル気の出出度について

積極的に仕事を進める能力があり、自分でも自信を持って取り組んでいる様子が見えます。どんなことでも、自分で自分をきちんと評価していなければ、本来の力は発揮できません。あなたの行動の結果は、周囲も評価していることと思われます。目的を見失わず、ますます前進していくことを期待します。ただし、周囲とのバランスには注意したほうがよさそうです。自分の求められている役割や仕事内容について再確認し、一人の考えで突っ走ってしまうことのないように気をつけて下さい。

■管理・対人能力について

周りとの関係、特に部下を引っ張っていくことができ、自分でも自信を持って行動しているようです。リーダーとしての役割を發揮する上では、自分の力を信じていることが重要です。的確な判断力、いざというときに動揺しない精神力など、必要な要素は様々ですが、やはり自分自身を評価していないと、実際の行動が伴わなくなります。ただ、専門的な知識や技術力がなくては、説得力のあるリーダーがつかまりませんから、日々の自己鍛錬は必要不可欠です。ますますの活躍が期待できます。

■思考能力の発揮について

自分自身を客観的に見ている一面があり、必要以上に過信することはないのですが、反面、自分の限界を勝手にここと決めてしまい、それ以上の力を出せなくしています。単にわかっているだけではなく、日頃から関係する分野に関する情報収集に努めるといいでしょう。専門知識や技術力などは、一朝一夕で身につくものではありません。小さいことの積み重ねが自信につながります。適当なところであきらめてしまうことなく、ひとつのことを突き詰めて考えてみると、そこから新しい突破口が見いだせます。